

第2次

小金井市スポーツ推進計画

進捗状況調査結果

(令和6年度)



第2次小金井市スポーツ推進計画進捗調査（令和6年度）の概要について

1 調査の概要

この調査は、令和5年3月に策定した第2次小金井市スポーツ推進計画（以下、「計画」という。）で掲げた「第4章 基本方針に基づく施策展開」に基づき3つの基本方針の進捗状況を確認し、同計画の基本理念である「豊かな生涯を運動・スポーツとともに」の実現を目指すため、9つの基本施策の進捗状況について年度別に整理したものとなっている。

令和6年度の事業を進めた結果、進捗状況は下記のとおり3つの基本方針のうち、基本方針1が「B」、基本方針2、3が「C」となり、順調とは言い難い状況である。この結果を真摯に受け止め、各取組において改善を図りつつ、着実に推進していくことが求められる。

2 進捗状況確認の期間

令和6年度中に行った事業

3 基本方針ごとの進捗状況の概要

(1) 「誰もが親しめる運動・スポーツ活動の推進」について

総合評価 B

各種のスポーツ教室・大会等については、概ね予定どおりに開催することができた。土曜スポーツクラブにおいては周知方法が課題となっていたことから、チラシ内容を更新し複数の広報媒体から発信する等、広報を強化したが参加者数は減となった。ジュニアサッカーフェスティバルでは受け入れ人数を増やし、これまでより多くの希望者に参加いただくことができた。部活動の地域連携等については令和5年度に引き続き委員会を4回開催するとともに市内中学校で実証実験を行った。先述の土曜スポーツクラブに加えスポーツフェスティバル、ボッチャ教室・大会等についても比較的参加者数が少ない状況であった。

なお、基本施策1-1から1-5までの取組について、種々努めた結果、概ね順調な活動量となり、総合評価をBとした。

(2) 「運動・スポーツを通じた健康づくり」について

総合評価 B

健康づくりに資するイベントや教室については、ほぼ予定通り開催でき、日常的に取り組める運動・スポーツの情報提供も行った。スポーツフェスティバルでは、例年のスポーツ体験ブースに加え、東京都のプラススポーツ体験プログラム「TEAM BEYOND」による車いすバスケットボール体験等を実施し、年齢や性別、障がいの有無にかかわらず楽しめるイベントとして充実を図った。基本施策2-1から2-2までの取り組みについては、概ね順調な成果が見られた。一方で、広報の強化に関しては改善の余地があるものの、全体として成果が着実に進展していることから、総合評価をBとした。

(3) 「運動・スポーツ環境の充実」について

総合評価 C

市内の各スポーツ施設については、修繕等により一時、利用中止せざるを得ない期間もあったが、利用人数は増加した。

野川駅伝に日本郵政女子陸上部の選手がレースに参加し、表彰式のプレゼンターを務めるなど、トップアスリートの走りを間近で見られる機会を設けることができた。

基本施策3-1から3-2までの取組について、概ね順調な実績ではあるが、小金井市が有するスポーツ施設等については、引き続き市民ニーズが高い状況であることから総合評価をCとした。

4 評価や記載ルールについて

(1) 基本施策・主な取組の評価基準

- A…十分達成
- B…おおむね達成
- C…努力を要する
- D…未実施・中止
- E…事業終了

(2) 基本方針の評価基準

基本施策の評価をアのように点数化し、基本方針ごとに合計する。その合計点に基づき、イの表に従って評価する。

ア 基本施策の評価

A 5点、B 4点、C 3点、D 2点、E 1点

イ 基本方針の評価

	基本方針1 (25点満点)	基本方針2・3 (10点満点)
A	22～25点	9～10点
B	18～21点	7～8点
C	15～17点	6点
D	0～14点	0～5点

(3) 基本施策ページの「評価の理由」における文頭○や△について
よかったことを○、今後の課題を△とする。

基本方針1 誰もが親しめる運動・スポーツ活動の推進

◆評価指標 週一回以上運動・スポーツを実施している市民の割合

※アンケート調査「市長への手紙」から計上（無作為に抽出した2千人の市民の方に送付したうち回答があった数（n）から集計）

年度	R 4 n=530	R 5 n=509	R 6 n=482	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
結果	53.2%	52.1%	54.6%						

※R4スポーツ推進計画策定時の
アンケートでは63.2%

目標値**65%**

目標値**70%**

基本方針2 運動・スポーツを通じた健康づくり

◆評価指標 自身は健康であり、日常生活に支障はないと感じる市民の割合

※アンケート調査「市長への手紙」から計上（無作為に抽出した2千人の市民の方に送付したうち回答があった数（n）から集計）

年度	R 4 n=530	R 5 n=509	R 6 n=482	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
結果	80.0%	73.5%	76.6%						

目標値**80%**

目標値**80%**
(維持)

基本方針3 運動・スポーツ環境の充実

◆評価指標 市スポーツ施設の利用者数

※総合体育館、栗山公園健康運動センター、市営テニスコート場、上水公園運動施設

年度	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
結果	35.0 万人	39.5 万人	40.7 万人						

目標値**60万人**

目標値**60万人**
(維持向上)

基本方針1 誰もが親しめる運動・スポーツ活動の推進

◆個別指標

1-1 子どもの運動・スポーツ活動の推進

A…十分達成 B…おおむね達成 C…努力を要する D…未実施・中止 E…事業終了

R6年度評価

C

(評価のポイント)

- ・運動・スポーツに関心のある子どもたちがさらに楽しめる事業を実施。
- ・普段運動・スポーツをしていない子どもにも身体を動かすことの楽しさや関心を与えられる教室や大会等を実施。
- ・子どもたちが運動・スポーツに継続して親しむことができる機会の確保を目指す。

R6年度評価

C

誰もが楽しめる運動・スポーツプログラムの実施

(評価の理由)

- 土曜スポーツクラブ、野川駅伝大会等、子どもたちに運動・スポーツに親しむ機会を提供することができた。
- スポーツフェスティバルでは例年のスポーツ体験ブースに加え、東京都のパラスポーツ体験プログラム「TEAM BEYOND」による車いすバスケットボール体験、障害者フライングディスク体験、デジタル技術を活用したアルペンスキー体験を実施した。年齢や性別、障がいの有無にかかわらず参加できるものとした。
- △土曜スポーツクラブについて周知方法が課題となっていたことから、漫画で内容を伝えるチラシを配布するとともに生涯学習課X（エックス・旧Twitter）アカウントやLINEでの周知を行った。土曜日に学校行事や学校公開が重なると参加者が少なくなることがある。

R6年度評価

B

中学校運動部活動の地域移行への対応

(評価の理由)

- 令和5年度に引き続き「小金井市立学校部活動の地域連携に関する検討委員会」を4回開催し、意見交換等を行った。
- 市内中学校において地域連携についての実証実験を行った。

(設定した活動量の指標)

取組事例	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
土曜 スポーツ(人)	381	356	346						
野川駅伝 (人)	376	509	665						
※中学生以下									

基本方針1 誰もが親しめる運動・スポーツ活動の推進

◆個別指標

1-2 働き盛り・子育て世代の運動・スポーツ活動の推進

A…十分達成 B…おおむね達成 C…努力を要する D…未実施・中止 E…事業終了

R6年度評価

B

(評価のポイント)

- ・子どもだけでなく大人も一緒に同じ場所で運動・スポーツができるプログラムの開催や、働き盛り・子育て世代が参加しやすく楽しめる運動・スポーツ事業を実施。
- ・夜間や休日等、参加しやすい日程・時間帯に、初心者や初めて利用する方でも気軽に参加できる教室や大会等のプログラムを実施。

R6年度評価

B

働き盛り世代が家族で楽しめる運動・スポーツプログラムの実施

(評価の理由)

- ジュニアサッカーフェスティバルやスポーツ個人開放校等、働き盛り・子育て世代の市民の方が土・日曜日や平日夜に運動・スポーツに親しむイベント・教室を開催できた。
- 親子健康教室では小学生と保護者向けに健康に関する座学・実践の講習を実施した。
- ジュニアサッカーフェスティバルはこれまで定員を超過する応募により参加できない方が存在したが、受け入れる人数を増やし多くの希望者に参加いただいた。

R6年度評価

B

参加しやすく楽しめる運動・スポーツプログラムの実施

(評価の理由)

- スポーツフェスティバルでは例年のスポーツ体験ブースに加え、東京都のparasports体験プログラム「TEAM BEYOND」による車いすバスケットボール体験、障害者フライングディスク体験、デジタル技術を活用したアルペンスキー体験を実施した。年齢や性別、障がいの有無にかかわらず参加できるものとした。(1-1再掲)

(設定した活動量の指標)

取組事例	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
ジュニアサッカーフェスティバル(人)	66	83	100						
野川駅伝(人)	187	262	281						
※一般参加者スポーツ個人開放校(人)	不明	不明	2,595						

基本方針1 誰もが親しめる運動・スポーツ活動の推進

◆個別指標

1-3 高齢者の運動・スポーツ活動の推進

A…十分達成 B…おおむね達成 C…努力を要する D…未実施・中止 E…事業終了

R6年度評価

B

(評価のポイント)

- ・地域における仲間づくりや交流を進め、健康・体力づくりやフレイル予防等につながるよう、体操並びにニュースポーツ等による運動意欲の向上を図り、高齢者の方々に様々なスポーツ実施の機会を提供。

R6年度評価

B

高齢者のニーズに対応する運動・スポーツプログラムの実施

(評価の理由)

- シニアスポーツフェスティバルで中高年齢向けに複数種目の大会を実施したほか、ポールウォーキング教室でストレッチ体操や歩き方の講習を行った。
- スポーツフェスティバルでは例年のスポーツ体験ブースに加え、東京都のプラススポーツ体験プログラム「TEAM BEYOND」による車いすバスケットボール体験、障害者フライングディスク体験、デジタル技術を活用したアルペンスキー体験を実施した。年齢や性別、障がいの有無にかかわらず参加できるものとした。(1-1、1-2再掲)
- 小金井さくら体操自主グループ活動等への支援を行い、他部門とともに高齢者の健康維持・増進に寄与することができた。

(設定した活動量の指標)

取組事例	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
小金井さくら体操自主グループ活動(人)	6,733	6,255	6,608						
シニアスポーツフェスティバル(人)	818	679	668						

基本方針1 誰もが親しめる運動・スポーツ活動の推進

◆個別指標

1-4 障がい者の運動・スポーツ活動の推進

A…十分達成 B…おおむね達成 C…努力を要する D…未実施・中止 E…事業終了

R6年度評価

C

(評価のポイント)

- ・運動・スポーツが苦手な方への動機づけや実施機会を確保し魅力あるイベントを実施するなどとともに、情報提供を行う。また、障がいの有無に関わらずスポーツに参加でき、誰もがともに楽しめるインクルーシブスポーツの普及を図る。

R6年度評価

C

障がい者の運動・スポーツプログラムの実施

(評価の理由)

- ボッチャ教室等やニュースポーツ出前教室等で障がい者の方の運動・スポーツの実施機会を設けるとともに、障がいの有無に関わらず楽しめるインクルーシブスポーツを普及する場を開設した。
- 障がい児(者)の方が水泳に触れ、マンツーマンで泳ぎを学ぶ水泳教室を実施した。
- △障がいの有無を問わずに参加でき、誰もがともに楽しめるインクルーシブスポーツの普及啓発や、それを支えるスポーツボランティアの情報提供を進める必要がある。

(設定した活動量の指標)

取組事例	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
ボッチャ教室・ボッチャ大会(人)	205	143	173						
障がい者(児)水泳教室(人)	中止	26	28						
ニュースポーツ出前教室(人)	519	276	575						

基本方針1 誰もが親しめる運動・スポーツ活動の推進

◆個別指標

1-5 競技能力・指導力向上への支援

A…十分達成 B…おおむね達成 C…努力を要する D…未実施・中止 E…事業終了

R6年度評価

B

(評価のポイント)

- ・市にゆかりのあるプロチームや企業・大学等と連携して、教室や講習会、講演会等を開催し、運動・スポーツ実施者の興味・関心の獲得と競技能力の向上、指導者の指導力向上を図る。
- ・講習会、研修等の情報発信を図り、指導者の資格取得や適切な指導力の獲得を支援するとともに、行き過ぎた指導等の相談窓口に関する情報を発信。

R6年度評価

B

トップチーム・アスリート等と連携した競技能力・指導力向上

(評価の理由)

- ジュニアサッカーフェスティバルや少年少女野球教室等でF C東京のコーチや元プロ選手からの指導が受けられたり、学芸大クラブ教室で大学生による指導に触れる機会を提供できた。
- 野川駅伝に日本郵政女子陸上部の選手がレースに参加するとともに表彰式のプレゼンターを務め、トップアスリートの走りを間近で見られる機会となった。

R6年度評価

B

指導者講習会等の情報発信

(評価の理由)

- スポーツ推進委員や体育協会、黄金井倶楽部に、随時、指導者の講習に係る情報を共有した。

(設定した活動量の指標)

取組事例	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
少年少女野球 教室(人)	78	66	79						
走り方教室 (人)	44	35	203						
学芸大クラブ 教室(人)	120	147	163						

基本方針2 運動・スポーツを通じた健康づくり

◆個別指標

2-1 健康の維持・増進活動支援

A…十分達成 B…おおむね達成 C…努力を要する D…未実施・中止 E…事業終了

R6年度評価

B

(評価のポイント)

- ・健康づくりにつながるイベント・教室等を複数実施し、参加者の拡大を図る。
- ・職場や家庭で実施できる運動・スポーツの情報提供、スポーツ施設以外の施設・空間等でも気軽に運動・スポーツが実施できる環境づくりを進める。

健康づくりに資するイベント・教室等の開催

R6年度評価

B

(評価の理由)

- ポールウォーキング教室でストレッチ体操や歩き方の講習を行った。(1-3再掲)
- 健康教室で健康に資する体操やストレッチ、歩き方など実践を交えた講習を行った。
- こがねい国保健幸チャレンジではウォーキングや健診受診によりポイントをため、一定数のポイントがたまると景品と交換できる取組で被保険者の健康維持、増進に寄与することができた。

R6年度評価

B

日常生活での運動・スポーツの機会の提供

(評価の理由)

- 東京都簡易保険加入者協会を通じ、市民体育祭の開会式にラジオ体操講師の派遣を受け指導いただき、日常的にラジオ体操を実施することの健康効果を周知した。

(設定した活動量の指標)

※すべて参加人数 単位：人

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
ポールウォーキング教室	74	63	43						
健康教室	79	91	126						
こがねい国保健幸チャレンジ	446	449	390						
体力測定	12	13	17						

基本方針2 運動・スポーツを通じた健康づくり

◆個別指標

2-2 運動・スポーツに興味・関心を持つ機会の充実と情報発信の強化

A…十分達成 B…おおむね達成 C…努力を要する D…未実施・中止 E…事業終了

R6年度評価

C

(評価のポイント)

- ・既存のスポーツ事業に参加しやすくなるよう広報の強化等を検討。イベント等において、運動・スポーツの機会提供、情報発信等実施。
- ・市内のスポーツ施設や施設開放等の取組に関する情報発信を強化し、スポーツ事業の認知度向上と利用・参加方法を周知。情報発信における連携を通じて市民同士の交流や市内団体・組織の横断的な協力関係づくりを促進。

R6年度評価

B

気軽に参加できるスポーツイベントの実施

(評価の理由)

- スポーツフェスティバルでは例年のスポーツ体験ブースに加え、東京都のparasports体験プログラム「TEAM BEYOND」による車いすバスケットボール体験、障害者フライングディスク体験、デジタル技術を活用したアルpensキー体験を実施した。年齢や性別、障がいの有無にかかわらず参加できるブースとし（1-1、1-2、1-3再掲）気軽に楽しめるイベントとした。
- F C東京連携イベント「小金井の日」において来場者にポッチャ大会や土曜スポーツクラブを周知するチラシを配布するとともに生涯学習課X（エックス・旧Twitter）アカウントのフォロー一勧奨を行った。

R6年度評価

C

様々な広報媒体の活用・連携、広報手段の改善・充実

(評価の理由)

- 各種大会や教室等においては、市内の関係団体やボランティア等が運営を担っていることから、参加側だけでなく運営側でも横断的な交流を促すことができた。
- △広報の強化については、より参加しやすくなるよう今後も工夫・改善を進めていく。

(設定した活動量の指標)

取組事例	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
X(旧Twitter) フォロワー数(人)	289	588	677						
スポーツフェスティバル(人)	1,537	1,928	1,620						

基本方針3 運動・スポーツ環境の充実

R6年度評価

◆個別指標

3-1 安全で快適に運動・スポーツができる場の充実

A…十分達成 B…おおむね達成 C…努力を要する D…未実施・中止 E…事業終了

C

(評価のポイント)

- ・施設の適切な管理や持続可能なスポーツ施設のあり方、利用者の利便性を高めるソフト面の充実等。
- ・小中学校の校庭や体育館等の体育施設について開放を推進。
- ・市内の企業や大学等が所有する運動・スポーツ施設の開放働きかけ。
- ・感染症予防の徹底、暑さ指数(WBGT値)等情報提供を行い安全管理の徹底。

R6年度評価

C

安全・快適な公共スポーツ施設環境整備

(評価の理由)

- 市営テニスコートの人工芝摩耗部分の一部修繕、総合体育館の卓球台の修繕を行った。南中テニスコートのネット上部のロープを交換した。
- 総合体育館エレベータ等改修工事を行った。
- 上水公園運動施設トイレの洗浄装置、グラウンドの水栓を修繕した。
- 市営テニスコート場の券売機や出入口を修繕するとともに、コート周辺の支柱を補強した。
- 一中クラブハウスのトイレの水栓、壁面を修繕した。
- 市のスポーツ施設については、ほぼ予定どおり利用に供することができた。
- △総合体育館の雨漏りや市営テニスコート場の人工芝の摩耗など、施設に不具合が生じている。

R6年度評価

B

学校施設・民間施設の市民開放

- 総合学院テクノスカレッジの開放を引き続き実施するとともにメガロス武蔵小金井と包括連携協定に基づきバスケットボール教室を開催した。

R6年度評価

B

安全な施設利用の推進

- 暑さ指数(WBGT値)について、各施設で注意喚起を行った。

(設定した活動量の指標)

施設例	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
総合体育館(人)	189,941	222,038	229,921						
栗山公園健康運動センター(人)	82,437	93,862	98,866						
市営テニスコート(人)	41,480	39,782	41,136						
上水公園運動施設(人)	36,882	39,003	37,522						
一中クラブハウス(人)	6,290	7,605	7,556						
民間施設開放(人)	中止	449	1,066						

基本方針3 運動・スポーツ環境の充実

◆個別指標

3-2 運動・スポーツを支える体制の充実

A…十分達成 B…おおむね達成 C…努力を要する D…未実施・中止 E…事業終了

R6年度評価

C

(評価のポイント)

- ・各種の団体と連携し、運動・スポーツの場・交流機会の充実を図る。
- ・地域の多様な団体・人材と連携し、運動・スポーツイベント等を支える体制の充実、コミュニティ活性化を図る。

スポーツ関連団体等との連携推進

R6年度評価

B

(評価の理由)

- 総合学院テクノスカレッジの開放を引き続き実施するとともにメガロス武蔵小金井と包括連携協定に基づきバスケットボール教室を開催した。(3-1再掲)
- FC東京との連携事業ではホームゲームに市民を無料招待する小金井の日において、市民や農業高校の教諭・生徒が参加し、農業振興や文化財分野のPRを行った。
- 野川駅伝に日本郵政女子陸上部の選手がレースに参加するとともに表彰式のプレゼンターを務め、トップアスリートの走りを間近で見られる機会となった。(1-5再掲)
- パリ2024オリンピック・パラリンピックに出場した市ゆかりのアスリートについてウェブサイトや生涯学習課X(エックス・旧Twitter)アカウントにて発信し応援機運を醸成した。
- スポーツフェスティバルに東京2020パラリンピックに日本代表として出場した小金井市観光大使の小田島理恵選手を招き、車いすバスケットボール体験を指導した。

R6年度評価

C

地域との連携による運動・スポーツを支える体制の充実

(評価の理由)

- 各種大会や教室で、市内の関係団体やボランティアが運営を担っていることから、参加側だけでなく運営側でも横断的な交流を促すことができた。(2-2再掲)
- △スポーツボランティアの情報提供を進める必要がある。

(設定した活動量の指標)

取組事例	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
FC東京連携事業(件)	16	20	17						